

第 8 回 平成筑豊鉄道沿線地域公共交通協議会

# 沿線市町村における 地元意見の集約状況について

令和 8 年 2 月 16 日



# 直方市

人口54,238人 (2025.10.31時点)

※「乗降人数」：本協議会で実施した0D調査結果  
(2025年7月11日(金)～17日(木)のうち14日(月)以外の平日1日平均)  
※「近隣主要施設」：駅から1km圏内に立地する施設

## ① 基礎情報

R7平成筑豊鉄道支援額 75,301千円

|             |               |  |                  |        |  |
|-------------|---------------|--|------------------|--------|--|
| 平成筑豊<br>鉄道駅 | 直方駅<br>(JR接続) | 乗降人数   | 1,153人(全36駅中 1位) | 近隣主要施設 | 【高校】鞍手高校(県立)、大和青藍高校(私立)<br>【病院】社会保険直方病院、西尾病院<br>【商業施設】家具のさかい |
|             | 南直方<br>御殿口駅   | 乗降人数   | 45人(全36駅中 25位)   | 近隣主要施設 |  |
|             | 藤棚駅           | 乗降人数   | 106人(全36駅中 17位)  | 近隣主要施設 | 【病院】高山病院   |
|             | 中泉駅           | 乗降人数   | 80人(全36駅中 19位)   | 近隣主要施設 |  |
| 管内交通インフラ    |               | JR九州、筑豊電気鉄道、路線バス(西鉄バス、JR九州バス)、コミュニティバス、タクシー(営業所) |                  |        |  |

## ② 意見集約のための取組事項

- ・議会への報告(12月定例会、12/12議員報告会)
- ・直方市公共交通協議会への報告(12/15)
- ・市民アンケートの実施(対象者：無作為抽出で約2,000人、期間：1/9～1/31)

## ③ 意見集約の状況・主な意見

「市民アンケートの結果」1/28現在(回答数：574人、回答率28.00%)

①鉄道上下分離案 62人(10.80%)、②BRT案 118人(20.56%)、③路線バス案 347人(60.45%)、回答なし 47人(8.19%)

「主な意見」

「①鉄道上下分離案」を選択した方々からは、「鉄道は、定時性、速達性、輸送力に優れ、天候に左右されにくいため遅延や運休が少なく通勤通学利用に非常に便利である。また、地域のシンボリック的存在でもあり、廃止すると街の活力が奪われ衰退してしまう。旅客だけで採算を計算するのではなく、物流貨物の可能性を考慮して鉄道資産を残す方向で計画した方が良いのではないか。」との、鉄道利用者への配慮や街の衰退を心配したご意見ご要望でした。

「②BRT案」や「③路線バス案」を選択した方々からは、「鉄道は、施設等の老朽化により将来にわたり安全性が確保できず持続が難しく、その状況で鉄道を地域の象徴として残す選択は、将来世代に大きな負担を残すことになる。それに比べバス転換案は、初期投資はかかるが全体的にコストを抑えられ、定時性や速達性が一定程度確保でき、費用とサービス水準のバランスが最適である。モード転換には運転手不足、運行管理事業者の選定等課題は多いが、駅や沿線の景観に配慮した専用道整備や利用状況の変化に合わせた柔軟な対応など、限られた財源で持続可能なモードの選択が望まれる。」と、各交通モードの速達性、定時性、輸送力等サービスの特性よりも負担金等の財政面を心配するご意見が多く寄せられています。

# 田川市

人口44,178人 (2025.10.31時点)

※「乗降人数」：本協議会で実施したOD調査結果  
(2025年7月11日(金)～17日(木)のうち14日(月)以外の平日1日平均)  
※「近隣主要施設」：駅から1km圏内に立地する施設

## ① 基礎情報 R7平成筑豊鉄道支援額 104,448千円

|              |                      |                                      |                  |        |  |
|--------------|----------------------|--------------------------------------|------------------|--------|--|
| 平成筑豊<br>鉄道 駅 | 繃 駅                  | 乗降人数                                 | 71人 (全36駅中 21位)  | 近隣主要施設 |  |
|              | 田川市立<br>病院 駅         | 乗降人数                                 | 140人 (全36駅中 14位) | 近隣主要施設 | 【病院】 田川市立病院  |
|              | 下伊田駅                 | 乗降人数                                 | 200人 (全36駅中 7位)  | 近隣主要施設 | 【高校】 田川科学技術高校 (県立)      【大学】 福岡県立大学<br>【商業施設】 スーパーセンタートライアル田川店、ホームプラザナフコ田川店等 |
|              | 田川伊田駅<br>(JR接続)      | 乗降人数                                 | 463人 (全36駅中 2位)  | 近隣主要施設 | 【病院】 村上外科病院  |
|              | 上伊田駅                 | 乗降人数                                 | 43人 (全36駅中 26位)  | 近隣主要施設 |  |
|              | 大藪 駅                 | 乗降人数                                 | 145人 (全36駅中 13位) | 近隣主要施設 | 【高校】 田川科学技術高校 (県立)<br>【商業施設】 MrMax田川バイパス店、サンリブ田川、ヤマダ電機テックランド田川店等             |
|              | 田川<br>後藤寺駅<br>(JR接続) | 乗降人数                                 | 280人 (全36駅中 5位)  | 近隣主要施設 | 【高校】 西田川高校 (県立)<br>【病院】 社会保険田川病院<br>【商業施設】 ディスカウントドラッグコスモス後藤寺店               |
| 管内交通インフラ     |                      | JR九州、路線バス (西鉄バス)、コミュニティバス、タクシー (営業所) |                  |        |  |

## ② 意見集約のための取組事項

- ・ 議会への報告 (1回目) 12月定例会中 (12/9総務文教委員会、12/10厚生委員会、12/11建設経済委員会)
- ・ 市民アンケートの実施 (対象者：中学生以上の市民1,500人 (無作為抽出)、回答期間：12/19～1/19、現在集計中)
- ・ 議会への報告 (2回目) 3月定例会中を予定

## ③ 意見集約の状況・主な意見

- ・ 議員からの意見等 (12月定例会)
  - (1) 鉄道を残してほしいという意見多数
  - (2) 財政負担を考えると、現実的にはBRT案又は路線バス案だという意見も多数
  - (3) 運転士不足のなかで、BRT案や路線バス案は運転士が確保できるのか疑問がある。
  - (4) 路線バス案の場合、通学時間帯に生徒全員が本当に乗れるのか、時間どおりに到着するのか、検証が必要ではないか。
  - (5) 上下分離案は、市町村の財政負担が大きすぎてこのままの負担は難しいが、国・県の支援が拡充されれば可能と考える。国・県への要望を早急にやってほしい。

# 行橋市

人口71,885人 (2025.10.31時点)

※「乗降人数」：本協議会で実施した0D調査結果  
(2025年7月11日(金)～17日(木)のうち14日(月)以外の平日1日平均)  
※「近隣主要施設」：駅から1km圏内に立地する施設

## ① 基礎情報

R7平成筑豊鉄道支援額 66,945千円

|             |               |                                       |                  |        |  |
|-------------|---------------|---------------------------------------|------------------|--------|--|
| 平成筑豊<br>鉄道駅 | 豊津駅           | 乗降人数                                  | 34人 (全36駅中 29位)  | 近隣主要施設 |  |
|             | 今川河童駅         | 乗降人数                                  | 51人 (全36駅中 24位)  | 近隣主要施設 | 【商業施設】ディスカウントドラッグコスモス今川店                                 |
|             | 美夜古泉駅         | 乗降人数                                  | 88人 (全36駅中 18位)  | 近隣主要施設 |  |
|             | 令和コスタ<br>行橋駅  | 乗降人数                                  | 132人 (全36駅中 15位) | 近隣主要施設 | 【高校】京都高校(県立)、行橋高校(県立)<br>【病院】行橋厚生病院 【商業施設】コスタ行橋、ゆめタウン行橋等 |
|             | 行橋駅<br>(JR接続) | 乗降人数                                  | 429人 (全36駅中 3位)  | 近隣主要施設 | 【病院】大原病院、行橋中央病院<br>【商業施設】エディオン行橋店、ベスト電器行橋店等              |
| 管内交通インフラ    |               | JR九州、路線バス(西鉄バス、太陽交通)、デマンド交通、タクシー(営業所) |                  |        |  |

## ② 意見集約のための取組事項

- ・住民説明会の実施(対象者：全市民、開催場所：沿線の公民館【泉・行橋・行橋南・今川】、開催日：泉12/6・行橋12/10・行橋南12/11・今川12/12、参加者：合計26人)
- ・住民アンケートの実施(対象者：15歳以上の行橋市民3,000人、回答期間：12/8～12/25、回答数：1,292通、回収率：43.1%)
- ・議会への報告(建設経済委員会、開催日：1/20)
- ・行橋市地域公共交通活性化協議会への報告(開催予定日：2/17)

## ③ 意見集約の状況・主な意見

- ・住民説明会内でのアンケート 【望む選択肢】鉄道：7人、BRT：8人、バス：6人、必要ない：1人
- ・住民アンケートの結果  
【望む選択肢】鉄道：183人(14%)、BRT：265人(21%)、路線バス：594人(46%)、必要ない：132人(10%)  
「望む選択肢の主な理由」  
鉄道：学生や高齢者などの必要としている人のために残してほしい／地域活性化や文化的に必要であると思うから  
BRT：費用負担が少ない・コストパフォーマンスが高いから／所要時間が短いから・速達性が高いから  
バス：費用負担が少ない・コストパフォーマンスが高いから／学生や高齢者など必要としている人がいるから、何かしらの交通手段は残してほしい  
必要ない：利用したことがないから・利用しないから
- ・議会への報告：住民アンケートの結果の報告とともに、執行部としては利用者の移動手段の確保を前提に市の負担額が最も少ない「路線バス案」の方向性を考えている旨を報告。委員会からは特に意見・異議はなかった。

# 小竹町

人口6,811人 (2025.10.31時点)

※「乗降人数」：本協議会で実施した0D調査結果  
(2025年7月11日(金)～17日(木)のうち14日(月)以外の平日1日平均)  
※「近隣主要施設」：駅から1km圏内に立地する施設

## ① 基礎情報

R7平成筑豊鉄道支援額 10,244千円

|              |      |                        |                 |        |  |
|--------------|------|------------------------|-----------------|--------|--|
| 平成筑豊<br>鉄道 駅 | あかち駅 | 乗降人数                   | 31人 (全36駅中 31位) | 近隣主要施設 |  |
| 管内交通インフラ     |      | J R九州、路線バス (西鉄バス)、福祉バス |                 |        |  |

## ② 意見集約のための取組事項

- ・住民説明会の実施  
対象者：全町民  
開催日：令和8年1月25日(日) 10時00分 参加人数 15名 (赤地区公民館)  
令和8年1月29日(木) 18時30分 参加人数 6名 (小竹町役場多目的室)
- ・議会への報告  
令和8年2月3日(火) 全員協議会

## ③ 意見集約の状況・主な意見

・これまでの法定協議会における調査概要や大きな方向性として示されている3案(①鉄道上下分離案②BRT案③路線バス案)について、説明会を実施し、質疑応答を通じて様々な意見を聴取することができた。

### 【住民説明会における主な意見】

- ・今後の自治体負担を考えると、路線バスへの転換が望ましいと思うが、速達性や定時性を考慮すればBRT案が良いのではないかなど。どの案が決議されても、通学で平成筑豊鉄道を利用していた学生や高齢者等(交通弱者)が困らないような対策を。
- ・沿線人口や利用者も減少して運賃収入の増が見込めない中、自治体が赤字補てん分を支払い続けることとなるため、長期的な視点でとらえ持続可能な方策を選択してほしい。
- ・JR勝野駅へのアクセスを確保し、現在のあかち駅利用者の利便性の低下を招くことのないようにしてほしい。
- ・路線バス案になった際のあかち駅近接バス停へのアクセス確保を。(町の無料巡回バスで直方市に乗り入れができるようになるなど)
- ・近年バス運転手確保が難しいと聞かすが、BRTや路線バス案に転換された場合は人員の確保は可能なのか。
- ・通勤、通学時間で込み合う時間帯はバスで対応可能か。早朝から夜間までの運行やJRとの接続を考慮されたい。
- ・鉄道が廃止となった場合でも、線路跡を観光資源として活用するなど検討いただきたい。
- ・鉄道廃止後の駅舎や線路敷きにかかる維持管理(草刈り等)をお願いしたい。

# 香 春 町

人口9,827人 (2025.10.31時点)

※「乗降人数」：本協議会で実施したOD調査結果  
(2025年7月11日(金)～17日(木)のうち14日(月)以外の平日1日平均)  
※「近隣主要施設」：駅から1km圏内に立地する施設

## ① 基礎情報

R7平成筑豊鉄道支援額 25,159千円

|             |            |                             |                |        |                               |
|-------------|------------|-----------------------------|----------------|--------|-------------------------------|
| 平成筑豊<br>鉄道駅 | 勾金駅        | 乗降人数                        | 212人(全36駅中 6位) | 近隣主要施設 | 【高校】田川高校(県立)<br>【病院】一本松すずかけ病院 |
|             | 柿下<br>温泉口駅 | 乗降人数                        | 24人(全36駅中 36位) | 近隣主要施設 |                               |
| 管内交通インフラ    |            | JR九州、路線バス(西鉄バス、太陽交通)、デマンド交通 |                |        |                               |

## ② 意見集約のための取組事項

- ・住民説明会の実施(対象者：住民及び利用者、開催日：R8.1/25(日)、参加者数：15名)
- ・議会への報告(全員協議会、開催日：R7.12/16(火))  
→法定協議会の概要や進捗状況、各種調査の結果、収支シミュレーション等を報告。

## ③ 意見集約の状況・主な意見

### 【議会】

- ・利用者が困ることがないような方向性を選択してほしい。

### 【住民説明会での意見】

- ・通学で利用中だが、バス停が自宅や学校に近くなるので路線バス案がいい。

# 糸田町

人口8,150人 (2025.10.31時点)

※「乗降人数」：本協議会で実施したOD調査結果  
(2025年7月11日(金)～17日(木)のうち14日(月)以外の平日1日平均)  
※「近隣主要施設」：駅から1km圏内に立地する施設

## ① 基礎情報

R7平成筑豊鉄道支援額 24,509千円

|             |             |      |                 |        |               |
|-------------|-------------|------|-----------------|--------|---------------|
| 平成筑豊<br>鉄道駅 | 豊前大熊駅       | 乗降人数 | 29人(全36駅中 32位)  | 近隣主要施設 |               |
|             | 松山駅         | 乗降人数 | 29人(全36駅中 32位)  | 近隣主要施設 |               |
|             | 糸田駅         | 乗降人数 | 123人(全36駅中 16位) | 近隣主要施設 | 【病院】糸田町立緑ヶ丘病院 |
| 管内交通インフラ    | デマンド交通、福祉バス |      |                 |        |               |

## ② 意見集約のための取組事項

- ・パブリックコメントの実施(対象者：本町に住所を有する人等、回答期間：1/15～2/12、意見数：1件【2/10現在】)
- ・議会への報告(全員協議会、開催日：パブリックコメントの回答期間終了後(予定))

## ③ 意見集約の状況・主な意見

- ・鉄道運営を維持してほしい。  
<理由>
  1. 駅舎は屋根やベンチがあり、雨風を防ぐことができる。
  2. 定時性や速達性に優れ目的地に早く着くことができる。
  3. 車による事故が少なくなり安全性の確保が図れる。
  4. 高校生などにとっては、非常に利便性が高い。
  5. 国や県に対し、更なる支援を要請すべきである。

# 赤 村

人口2,760人 (2025.10.31時点)

※「乗降人数」：本協議会で実施したOD調査結果  
(2025年7月11日(金)～17日(木)のうち14日(月)以外の平日1日平均)  
※「近隣主要施設」：駅から1km圏内に立地する施設

## ① 基礎情報 R7平成筑豊鉄道支援額 30,880千円

|             |            |      |                |        |  |
|-------------|------------|------|----------------|--------|--|
| 平成筑豊<br>鉄道駅 | 内田駅        | 乗降人数 | 26人(全36駅中 34位) | 近隣主要施設 |  |
|             | 赤駅         | 乗降人数 | 39人(全36駅中 27位) | 近隣主要施設 |  |
|             | 油須原駅       | 乗降人数 | 60人(全36駅中 23位) | 近隣主要施設 |  |
|             | 源じいの<br>森駅 | 乗降人数 | 34人(全36駅中 28位) | 近隣主要施設 |  |
| 管内交通インフラ    |            | 福祉バス |                |        |  |

## ② 意見集約のための取組事項

- ・議会への報告(全員協議会、開催日：12/10)
- ・区長会への報告(区長会、開催日：12/15)
- ・広報誌1月号への掲載(大きな方向性の選択肢3案の概要、本村の負担額等)

## ③ 意見集約の状況・主な意見

- ・バス転換することで料金を上げることほしくない
- ・現状の駐車場を確保してほしい
- ・油須原駅周辺のBRT化を望む
- ・バス停の配置については利便性を考えてほしい
- ・過疎債の充当については他の事業に影響がないようにしてほしい

# 福智町

人口20,637人 (2025.10.31時点)

※「乗降人数」：本協議会で実施した0D調査結果  
 (2025年7月11日(金)～17日(木)のうち14日(月)以外の平日1日平均)  
 ※「近隣主要施設」：駅から1km圏内に立地する施設

## ① 基礎情報 R7平成筑豊鉄道支援額 62,716千円

|             |             |                               |                  |        |                         |
|-------------|-------------|-------------------------------|------------------|--------|-------------------------|
| 平成筑豊<br>鉄道駅 | 市場駅         | 乗降人数                          | 60人 (全36駅中 22位)  | 近隣主要施設 | 【病院】上野病院                |
|             | ふれあい<br>生力駅 | 乗降人数                          | 149人 (全36駅中 12位) | 近隣主要施設 |                         |
|             | 赤池駅         | 乗降人数                          | 175人 (全36駅中 9位)  | 近隣主要施設 | 【商業施設】スーパーセンタートライアル福智店等 |
|             | 人見駅         | 乗降人数                          | 77人 (全36駅中 20位)  | 近隣主要施設 |                         |
|             | 金田駅         | 乗降人数                          | 370人 (全36駅中 4位)  | 近隣主要施設 |                         |
|             | 上金田駅        | 乗降人数                          | 156人 (全36駅中 11位) | 近隣主要施設 |                         |
| 管内交通インフラ    |             | 路線バス (西鉄バス)、デマンド交通、タクシー (営業所) |                  |        |                         |

## ② 意見集約のための取組事項

- ・議会報告 12月定例会 (12月2日 法定協議会での協議内容や、交通モード案等の説明)
- ・住民アンケートの実施 対象：広報紙を配布している全世帯 9,696世帯  
 調査期間：広報紙1月号にて配布～令和8年1月27日(火) \*消印有効

## ③ 意見集約の状況・主な意見

- ・議会報告  
 利用者の多くが学生のため、速達性、定時性、輸送力に優れている上下分離案が良いが、財政負担を考慮するとBRT案や路線バス案の検討も必要ではないか
- ・住民アンケート  
 回答数：1,881票 回収率：19.4% (鉄道上下分離案 58.7% BRT案 21.6% 路線バス案 18.0%)  
 主な意見 別紙参照

## 【主な意見】

### ① 鉄道維持 (502 コメント)

平成筑豊鉄道の維持を求める声は、単なる“願望”ではなく、生活基盤そのものを支える必須インフラとしての切実な要望と言える。

#### 【主な意見のまとめ】

- ・ 通学手段として不可欠 (最大の理由)
- ・ 高齢者・交通弱者の生活維持に必須
- ・ 雪・渋滞などに左右されない安全性・定時性への信頼
- ・ 鉄道がなくなると地域の衰退が加速するという危機感
- ・ 日常利用 (通院・買物・仕事・外出) での実需
- ・ 鉄道への長年の愛着と文化的価値
- ・ 以上の要素が重なり、「維持こそが地域の生命線」という共通した認識
- ・ 住民は赤字も理解しつつ、運賃値上げ・本数調整・寄付・観光展開など柔軟な案を出しながら“何としても残したい”という姿勢を示す

### ② BRT転換 (164 コメント)

BRT 転換は「理想ではないが、現実的には最も妥当な選択肢」という認識が多数派を占める。一方で、通学・高齢者利用への影響や、BRT の運行安定性への懸念も根強く、肯定・容認・不安・反対が複雑に混在する非常に“揺らぎのある意識”が読み取れる。

#### 【主な意見のまとめ】

- ・ 鉄道維持が最も望ましいが、財政状況と将来性から「現実的ではない」という認識
- ・ BRT は“鉄道廃止”と“公共交通維持”の間にある、最も合理的で実現可能な代替案
- ・ ただし、通学・通院など生活の根幹となる機能の低下は、絶対に回避すべきと考える住民が圧倒的多数
- ・ BRT への転換は、地域交通の総合的な見直しと、町の将来像の再設計とセットで進めるべき

・ 「形は変わっても、公共交通をなくさないでほしい」という、切実で共通した民意が基盤

### ③ 路線バス転換 (120 コメント)

路線バス転換は「費用負担の軽減という合理性」と「生活の不便・不安」という相反する感情が最も強くぶつかる選択肢である。賛成理由は主に財政面に集中し、一方で生活への影響を懸念する慎重・反対意見が多数を占める。地域交通の将来像を考える上で、路線バス案は“最も割り切った現実案”として受け止められている。

#### 【主な意見のまとめ】

- ・ 財政面では最も合理的だが、生活面では最も不安が大きい選択肢
- ・ 柔軟性・低コストの利点は理解しているが、通学・通院など生活基盤が弱くなる懸念
- ・ 「バスでは生活が成り立たない」「バスはすぐ廃止される」という根深い不信感が存在
- ・ 転換するなら、渋滞対策、定時性の確保、通学便確保などの“実効性のある改善策”が不可欠
- ・ 本音としては“どんな形でも公共交通だけは残してほしい”という切実な願いが共通

# みやこ町

人口17,384人 (2025.10.31時点)

※「乗降人数」：本協議会で実施したOD調査結果  
 (2025年7月11日(金)～17日(木)のうち14日(月)以外の平日1日平均)  
 ※「近隣主要施設」：駅から1km圏内に立地する施設

## ① 基礎情報 R7平成筑豊鉄道支援額 42,798千円

|             |             |                             |                 |        |  |
|-------------|-------------|-----------------------------|-----------------|--------|--|
| 平成筑豊<br>鉄道駅 | 崎山駅         | 乗降人数                        | 24人(全36駅中 35位)  | 近隣主要施設 |  |
|             | 犀川駅         | 乗降人数                        | 192人(全36駅中 8位)  | 近隣主要施設 |  |
|             | 東犀川<br>三四郎駅 | 乗降人数                        | 32人(全36駅中 30位)  | 近隣主要施設 |  |
|             | 新豊津駅        | 乗降人数                        | 160人(全36駅中 10位) | 近隣主要施設 |  |
| 管内交通インフラ    |             | 路線バス(太陽交通)、デマンド交通、タクシー(営業所) |                 |        |  |

## ② 意見集約のための取組事項

- ・住民説明会の実施(12月14・15日-豊津、19・20日-犀川) ※説明会参加者には、会場にてアンケート調査を実施
- ・議会全員協議会での説明(12月1日、1月13日)
- ・町区長会での質問において、状況の説明
- ・町広報紙2月号において、特集記事の掲載

## ③ 意見集約の状況・主な意見

- ・説明会の参加状況(4回・83人) アンケート提出者(69人)  
 今後の方向性(現状22人、上下分離16人、BRT16人、路線バス6人、未回答10人) ※複数回答あり  
 自由意見では、  
 住民の負担・財政面に関する意見  
 地域の公共交通に関する意見
- ・議会での説明・意見等  
 十分な住民説明と意見の反映  
 高額な投資は避けるべき  
 廃線も含め検討すべき

